



豊玉二中だより

平成30年度 第8号
発行日 12月17日(月)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 神山 信次郎

相手の気持ちになって考える

校長 神山 信次郎

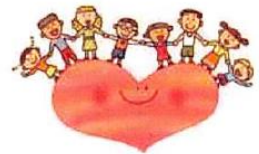
早いもので、いつの間にか師走を迎えました。12月のスタートとしては暖かかったですが、最近ではめっきりと寒さも厳しくなってきました。風の予防などを含め十分に健康管理に注意してほしいところです。

さて、世界の平和を守るための組織である、国際連合は、1948年に「自由・正義・平和」の基礎となる基本的人権を確保するために「世界人権宣言」を採択しました。さらに、1950年には、世界人権宣言が採択された、12月10日を「人権デー」と位置づけました。

日本では毎年12月4日から10日までを「人権週間」と定め、その期間中人権尊重思想の普及高揚を図るため、各地で集中的な啓蒙活動を行っています。

今年のスローガンは「みんなで築こう 人権の世紀」です。

さて、「人権」という言葉は一般的に使われていますが、その言葉の意味はいったいどんなものでしょうか。



社会科のある資料では、

「人が生まれながらにして持っている権利。誰しものが等しく無条件に持っている権利」と記されています。

「生まれながら」「無条件」ということはあまりにもありふれた言葉であるだけに、意外に見逃しやすく、また意外に踏みにじられやすいものであります。

また、「人権」というものは、目に見えないものだけに、空気のような存在でもあると思います。そしてなくてはならないものであり、案外知らずに相手の人権を踏みにじることも多くあるのではないかと思います。

私は、「人権」とは「自分を大切にすると同じくらい相手を大切だと認めること」だと思います。

この機会に何かやるときに、「相手の気持ちになって考える」ということをやってみると、人権について考える一つの機会になるのではないのでしょうか。

社会が急速に変化する中、私たちを取り巻く環境は多くの問題を抱え、子供の成長に強く影響を及ぼしています。そのような中で「自己肯定感や他を大切にできる心」「命の尊さに対する感性などを培うこと」などが今日の教育に求められていることだと思います。

保護者の皆様、2学期も教育活動へのご理解・ご支援を賜り深く感謝申し上げます。ありがとうございました。また、様々な学校行事へのご協力をはじめ、本当に多くの方々にご来校いただきました。心より御礼申し上げます。来年も、今年以上に飛躍した年になることを願い、新たな年を迎えたいと思います。皆様、良いお年をお迎えください。

